



暑い日が続いております。市民の皆様におかれましては、ご壮健で活躍の事と存じます。

第360回6月定例会が7月4日に閉会致しました。補正予算案、条例案13件、条例案以外21議案、人事案3議案、報告50議案が可決されました。

この議会では、私が一般質問の機会を頂き「農業農村について」「河川改修の促進、県北高規格・北方地区現道使用について」など質しました。(内容につきましては、裏面に記載。直詳しくお知になりたい方は、ホームページにて)

7月初めEPAが、大枠合意したとあります。農業分野での影響を県議会としても、チェックをしてまいりたく考えております。

この9月7日から11日まで、和牛のオリンピックといわれております「全国和牛能力共進会宮城大会」が、夢メッセみやぎで開催されます。

市内の畜産農家からも数頭県代表として参加を致します。上位入賞をご期待いたします。

なお、興味のある方は、ぜひ、足を運んでみていただきたく存じます。今後とも、皆様の声をお寄せ頂きますようお願い致します。

宮城県議会議員 **わたなべ 忠悦**

活動アルバム



南三陸ポータルセンター
(大震災復興についての意見交換)



ハマレ歌津(復興施設見学)



日本製紙石巻工場(カーボン・ナノファイバー・セルロースについての意見交換視察)



アグリードなるせにて(農地集約型農業モデル)



大崎市 醸室にて
(農業遺産登録についての意見交換)



東北大学青山新キャンパス
放射光予定地視察

活動のリズム、ひらめきの音

主な一般質問要旨 & 回答要旨

平成29年6月定例県議会 本会議

迫川支川※における現在の整備状況について



質 問

迫川本川と比較して、支川の夏川、荒川、長沼川の改修が遅れています。国への予算要望を強化し早急に進捗を図るべきと考えますがいかがですか。

【答弁】 土木部長

河川問題

夏川では、橋向橋上流の堤防嵩上げのための用地買収、荒川では、仮屋の河道ポンプの追加工事、長沼川では、迫川に接続する放水路を整備しております。地域の方々が一日でも早く安心して暮らせるよう、引き続き国に対し予算確保を強く要望し、支川についても、より一層計画的に整備を進めてまいります。



※支川（しせん）：ふたつの川が合流する場合、小さい方（延長が短い方）の川をいう。一方、大きい方（延長が長い方）の川は本川という。

みやぎ県北高速幹線道路の整備について



質 問

県北高速幹線道路において、迫町北方地区の4km区間が現道使用であり、安全性や機能性などの観点から高規格道路として事業化すべきと考えますが所見を伺います。

【答弁】 土木部長

道路整備問題

自動車専用道路としての連続性の観点からは、交通安全上の課題があると認識しております。

同区間の事業化の可能性について検討を進めてまいります。また、「復興支援道路」としての効果を早期に発現させるため、現在事業中の3工区の完成・共用を最優先に進めていく所存です。



伝統野菜※の地種について



質 問

主要農産物種子法の廃止を踏まえ、地元農家からは、不安や主要種子への県の関与の継続を求める声が聞こえておりますが、今後の品種育成と種子の生産方針について、どういったお考えをお持ちかお聞かせください。

【答弁】 農林水産部長

農業問題 1

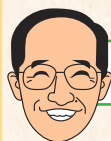
我が県の主要農産物である稲、麦、大豆の安定生産と品質向上を図っていくため、品種育成を継続いたします。また、現行の種子生産体制の維持に努め、引き続き優良種子の生産に積極的に関与してまいります。



※伝統野菜：特定の地域や場所で古くからつくられてきた野菜のことで、同じ地域で長く採取を繰り返して寒さや暑さといった気候条件や虫害などに耐えるうちに、その土地での生育に適応してきた品種。限定された地域内では安定した収穫が期待できる。



農業共済事業の見直しについて



質 問

農業災害補償法が改正され、新たな農業保険制度が創設されることについて認識と、農家のメリット・デメリットをどう捉え、対応していくのか所見を伺います。

【答弁】 農林水産部長

農業問題 2

農業者にとってより幅広いセーフティネット[※]につながるものと期待しています。

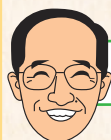
一方、加入対象者青色申告を行う農業者に限定されるほか、農業共済制度との重複加入ができず、有利な制度の判断が難しい状況です。

情報収集につとめ、関係団体等と連携しながら、農業者に制度の内容を丁寧に説明し、十分に理解を深めた上で選択加入できるように努めてまいります。

※セーフティネット：「安全網」と訳され、網の目のように救済策を張ることで全体に対して安全や安心を提供する仕組み。社会保障の一種。



新需要米について



質 問

ノングルテンとしての売り出し方や品種改良による酒米など、多くの可能性があり付加価値を高められると思いますが、今後の方向性について伺います。

【答弁】 農林水産部長

農業問題 3

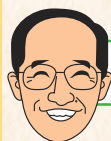
米粉を使用した新商品開発への支援や、米の新たな加工技術や新品種の開発に取り組むなど、付加価値を高める取組を強化し、米の新たな需要拡大と農家所得の向上につとめる所存です。



農水省 ――「ノングルテン」表示の認証制度を今年中に開始いたします。米粉製品の使い勝手を良くすること、国内外のグルテンアレルギー患者などにアピールすることが狙い。

捕捉：一般的、国際的には「グルテンフリー」という言葉が浸透していますが、これは含有量が20ppm以下の場合の表示です。日本では、基準を1ppm以下と定めた「ノングルテン」表示で差別化を図り、国内外へアピールします。

農地集積計画の推進について



質 問

平成35年における担い手への農地集積率を90%とする目標ですが、副業的農家や自給的農家も多く、権利関係が不明の農地も存在する状況を踏まえ、計画の進捗に問題はありますか。

【答弁】 農林水産部長

農業問題 4

農業者の費用負担を求めずに実施できる基盤整備事業も創設され、農地集積がより進みやすい状況になることが期待されています。

国の制度や事業を最大限活用しながら、農地集積の目的である、効率的かつ安定的な担い手の育成に努めてまいります。



活力ある産業へ
地域連携の促進

市内トピックス

第11回全国和牛能力共進会 宮城県代表牛(種牛の部)が決定



本年9月に開催される和牛のオリンピック、全国和牛能力共進会の宮城県最終選考会(種牛の部)が開催されました。

今回は地元開催であることから、県代表牛を目指す生産者からは熱気が

伝わってきました。

各地区代表牛より、慎重な審査の結果、種牛の部20頭が選抜されました。

登米市からは、第2区分小野寺さん・第3区分菅原さん・第6区分(有)N.O.N.Aさん・服部さん・佐々木さんの5頭の牛が宮城県代表牛に選ばれました。

今回、初めて全国の農業高校生により出品される区が設けられ、復興特別出品区として県内で和牛を飼養している4校から出品があり、県代表牛1頭が選抜されています。

なお、最終選考会には約3千人の来場者が訪れにぎわいました。

県代表牛を集めた集合指導会が6、7月に行われました。

登米市より選抜された代表牛も参加した指導会には19頭が参加。部門別に正しい姿勢で立ち止まる訓練や歩行練習を行いました。

集合指導会は8月にも行われる予定です。



三陸道道の駅「三滝堂」開業



オープンした道の駅「三滝堂」の様子

宮城県登米市東和町の三陸自動車道・三滝堂インターチェンジに隣接して整備を進めていた『道の駅 三滝堂』が2017年4月1日に開業しました。

東北では147駅目、県内で13カ所目の道の駅は、登米市(内陸地域)と南三陸沿岸地域のゲートウェイとして、地域の観光総合窓口の役割の他、登米市ブランド米をはじめとした特産品や各種農産物の販売所と飲食施設があります。三陸道と国道398号の両方から利用が可能です。

完成式には関係者ら約120人が出席し、吹奏楽や太鼓の演奏も行われました。今後は、道の駅「三滝堂」が、個性豊かににぎわいのある空間となり、活力ある地域づくりや道を介した地域連携の促進などの効果も期待されます。

活動アルバム 大震災復興調査委員会活動



防潮堤の見学(稲むら)



稲むらの火の館視察



心のケアについての意見交換会



クボタ農機視察



和歌山・人と防災未来センター
(上・中:視察 下:大震災復興調査委員会)

お問い合わせ

宮城県議会議員 わたなべ忠悦事務所

所在地: 〒987-0511 登米市迫町佐沼字大網 534

TEL: 0220-23-7757 FAX: 23-7838

E-Mail: tkdmg013@ybb.ne.jp

オフィシャルウェブサイト <http://watanabe-chuetsu.jp>

渡辺忠悦

検索



近所にお越しの際は、
どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。どんな小さなことでもよろしいのでお話を聞かせ下さい。